

いーぶん

素敵なお友達になるために



特集

性について考えよう
〜LGBTQ+〜

一宮市パートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度を開始してから1年が経過しました(令和4年9月1日開始)。また「LGBTQ+」という言葉を知る機会も増えてきました。この機会に性の多様性について正しい知識を学び、考えてみましょう。

はじめに

無意識に思い込んでいることはありませんか。

「性」は見える部分（外見）だけではなく、見えない部分（内面）も含んで「性」です。

「性」や「LGBTQ+」について正しい知識を身に着け、多様性を理解しましょう。

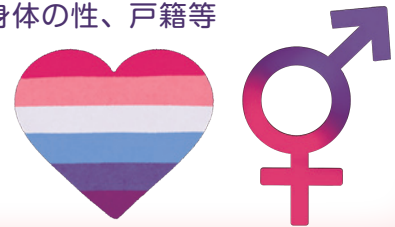
LGBTQ+についての知識

まず「性」の要素と
「LGBTQ+」を勉強しましょう。



「性」には4つの要素があります。

- ① 性自認 : 自分の性別をどのように認識しているか
- ② 性的指向 : 恋愛感情や性的な関心がどのような性別にむかうか
- ③ 性表現 : 自分の性別をどう表現するのか（服装・髪型）
- ④ 性的特徴 : 生まれもった身体の性、戸籍等



性の要素は誰にでもあり、一部の人に限った要素ではないのですね。
性のあり方をSexual Orientation(性的指向)と
Gender Identity(性自認)の頭文字をとって
「SOGI」(「ソジ」もしくは「ソギ」と読む)という言葉で表現します。
だからみんなが「SOGI」に該当する、と言えますね。

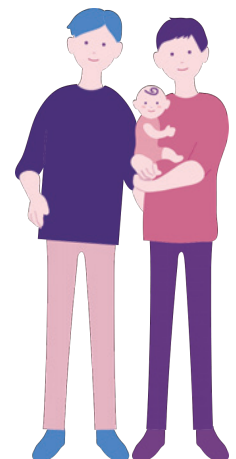


LGBTは4つの言葉の頭文字を取った性的マイノリティ(性的少数者)を表す総称の1つです。

- L** レズビアン(Lesbian) : 女性に恋愛感情をもつ女性
- G** ゲイ(Gay) : 男性に恋愛感情をもつ男性
- B** バイセクシュアル(Bisexual) : 男性にも女性にも恋愛感情をもつ人
- T** トランスジェンダー(Transgender) : 心とからだの性が一致しない人

現在では「LGBT」に「Q」「+」をつけて表現することも多いです。

- Q** クィア・クエスチョニング
クィア: 規範的な性のあり方に当てはまらないと認識する人。
クエスチョニング: 自分の性のあり方を決めていない人、わからない人。
あえて決めていない人。
- +** プラス
他にもさまざまな性があることを意味します。



LGBTQ+ をとりまく環境

人口の割合にすると「10人から13人に1人」となります。40人のクラスなら、3~4人はLGBTQ+がいる計算になるのですね。



各調査によるとLGBTQ+の割合は、8.9%~10%と結果が出ています。

※出典 LGBT 総合研究所 2019年「LGBT 意識行動調査 2019」
電通ダイバーシティ・ラボ「LGBTQ+ 調査 2020」



LGBTQ+について、理解不足や無意識の思い込みでこんなことに困っています。

学校・職場

- ・「男らしくない」「女らしくない」「気持ちわるい」などのからかい、悪口
- ・他者に知られたいくない思いから相談することができず悩んだり、孤立したりする
- ・信頼してカミングアウトしたら、アウティングされる など

カミングアウト：本人の意思で自分が「LGBTQ+」だと打ち明けること
アウティング：本人の同意なく、性的指向や性自認を第三者に暴露すること

家庭・地域

- ・家族や身近な人に相談できない
- ・家族に相談できても、地域での孤立を恐れて親族や近所の人に言えない
- ・社会保障制度を利用できない など



LGBTQ+に対する取組は広がっています。

海外で同性婚は2023年2月時点で34の国・地域で認められています ※出典 EMA(イーマ)日本



日本でも少しずつ取組が始まっています。

自治体の事例

- ・パートナーシップ制度等の施行
- ・事務手続きの配慮
提出書類の性別欄を無くす、男・女以外の選択肢（その他、回答しない など）
- ・ジェンダーレス制服の導入



一宮市は令和4年9月1日からパートナーシップ・ファミリーシップ宣誓制度を開始しています。

一宮市の制度では、例えば以下の方が対象となります。

- ・性別にとらわれないパートナーとその家族
- ・氏が変わることに躊躇している事実婚のカップル
- ・遺産相続などの問題で結婚に踏み出しにくい方々



問合せ先：一宮市総合政策部政策課



一宮市では、LGBTQ+の方をはじめ、様々な事情によって悩みや生きづらさを抱えている市民の方々に寄り添い、誰もが「自分らしく生きることができる」社会の実現を目指しています。

一人では抱え込まない LGBTQ+ の相談はこちら

「性」について悩んでいる方、友人、家族などの身近な方から相談されて悩んでいる方、SOGI ハラなどで困っている方は、一人で抱え込まず専門機関に相談してください。

●よりそいホットライン

電話は24時間対応です。電話での対応が難しい方はFAXでも相談可能です。

電話 : 0120-279-338 (ガイダンスが流れたら、4を押下)

FAX : 0120-773-776

チャットでも相談可能です。右のQRコードよりご利用ください。



よりそいホットラインチャット

●レインボーホットライン

電話 : 0120-51-9181

(毎月第1月曜日 19:00 ~ 22:00)

LINE : LINE アプリの友だちタブを開き、画面右上にある

[友だち追加ボタン] > [QRコード] をタップ、

コードリーダーでスキャンし友達に追加してください。



レインボーホットラインLINE

QRコードは株式会社デンソーウェブの登録商標です

なくそうDV 困ったときには相談を

配偶者や恋人等からの暴力(DV)に悩んでいませんか?ひとりで悩まず、まずはご相談ください。身体的暴力のみならず、精神的・性的暴力もDVにあたります。

●全国共通の短縮ダイヤル

発信地等の情報から、最寄りの相談機関に電話がつながります。

DV相談(相談機関:配偶者暴力相談支援センター) #8008(はれれば)

性暴力被害相談(相談機関:ワンストップ支援センター) #8891(はやくワンストップ)

●DV相談+(プラス)

電話とメールは24時間対応です。外国語にも対応しています。

スマートフォンからは右のQRコードよりご利用ください。

電話:0120-279-889(つなぐはやく)



●一宮市女性悩みごと相談

相談時間:月~金 10:00~12:00、13:00~16:30、祝日・年末年始は休み

相談方法:面接、電話

相談場所:子ども家庭相談課(本庁舎4階)

電話:0586-28-9149

『いーぶん』は『男女共同参画』に関する様々な情報や話題を皆さんに提供する情報紙です。
『いーぶん』という名称には、男女の平等『EVEN』とみんなの『言い分』という意味が込められています。

編集協力者/岡西 美子、吉田 和江、伊藤 孝司、岩田 宏美 編集・イラスト協力者/後藤 明美

編集・発行/一宮市総合政策部政策課

〒491-8501 一宮市本町2-5-6 TEL 0586-28-8952 FAX 0586-73-9128

Eメール seisaku@city.ichinomiya.lg.jp ウェブサイト <https://www.city.ichinomiya.aichi.jp/>

*政策課のウェブサイト(ページID 1011667)では、『いーぶん』のバックナンバーがご覧いただけます。

*『いーぶん』は市内公共施設で配布しています。配布場所については政策課にお問い合わせください。

ご意見お待ちしております

今回の「いーぶん51号」をご覧いただきました感想、
ご意見を受け付けています。右のQRコードよりお願いします。
ご意見受付期間:令和6年3月31日まで。

